

明治維新 150 年記念関連事業

神崎市歴史講演会

《幕末から維新・明治期に活躍した神崎の偉人とその偉業を知る》

我国近代ガラス工芸技術者 神崎町唐香原出身—藤山種廣—

演題

『佐賀藩精錬方 藤山種廣と
日本の近代ガラス』

講師

井上暁子氏 【日本ガラス工芸学会・工芸史】

東海大学教養学部・大妻女子大学文学部兼任講師

入場無料

どなたでも参加できます。

日時

平成 30 年 3 月 4 日 日曜日

受付：午後 1 時～

講演：午後 2 時～ 4 時

場所

西九州大学 3号館 1階 大講義室

主催：神崎市

藤山種廣

- 天保9年(1838) 神埼町唐香原に生まれる。
年代不詳 佐賀藩精錬方掛員となる。
慶応3年(1867) 佐野永壽左衛門(佐野常民)に随行しパリ万博とフランス・オランダ・ベルギー・英国の視察のため渡欧。
明治元年(1868) 帰国
明治4年(1871) 工部省勸工寮十等出任。
明治5年(1872) 工部省勸工寮九等出任。10月ウィーン万国博覧会に派遣される。
明治6年(1873) 工部省勸工寮九等出役。1月、ウィーンへ派遣され、活字銅版並びに鉛筆製造・硝子製造研修を受ける。
明治7年(1874) 帰国。正院印刷局に出任。
明治8年(1875) 大蔵省紙幣寮初代活版局長となる。
明治10年(1877) 品川硝子に移り、洋式ガラス製法教授する。
明治14年(1881) 品川硝子工場総轄として日本の硝子工業の近代化に貢献する。
明治16年(1883) 品川硝子を辞職し、神埼へ帰る。
明治17年(1884) 硝子製造薬料調合法を発表する。
明治19年(1886) 48歳で死去。

